

3. 職域別・専攻別卒業生の会とのつながり

母校には、職種・職域別や、学科・専攻・課程別に「卒業生の会」があり、香友会では「卒業生の会」運営の支援として、活動に要する通信費や研修会講師料の補助をおこなっています。「卒業生の会」への支援は平成16年度より始まりました。その後、平成23年度に支援のあり方について各会との意見交換をおこない、通信費・講師料の上限金額を決めた上での支援を開始しました。

若葉会

検査技師課程の皆が繋がる『若葉会』

井越 尚子 学部昭和56年卒業

臨床検査技師として朝日生命糖尿病研究所勤務後、平成26年より女子栄養大学栄養科学専攻教授（微生物学・臨床検査学研究室）、検査技師課程委員長。研究は「栄養士資格を持った臨床検査技師の在り方、特に在宅医療において」および「酸化ストレスと抗酸化度について生理周期中の変動とダイエット効果による変動」の両面について。若葉会会長

「若葉会」は本学検査技師課程の

同窓会で、昭和55年9月20日に創設されました。会員は昭和52年度卒業生8名の初代から現在約1,800名になります。この会は、初代先輩

方の経験から企画されました。検査技師課程では4年次の夏に数ヶ月の臨地実習（病院実習）がありますが、実習初日に学生だけで病院に行くことが不安だった思いから、実習前に松柏軒に技師さんたちをお招きし、立食をしながら顔合わせを図ろうというものです。その後、卒業後2年目の代が実習生（4年生）のために企画する形で20年程続きました。現在は、学内に卒業した教職員が増えたことから、この役割は検査技師課

程委員会に移管され、実習先の方々や卒業生を引き合わせる場として、「わかば会」と平仮名に変え、引き継がれています。

本学の検査技師養成の礎は、現香川芳子学園長の強い思いにあります。もともと本学は医師のつくった栄養士養成過程のため、多くの実験が取り入れられていました。ヒトを対象とした栄養学研究では、臨床検査は必須であり、自身で検査値を出すことができるのは強みと考え、栄養学研究に役立つ検査のできる研究者を育てる手段として、栄養学科栄養科学専攻に検査技師教育を取り入れることを発案されたそうです。それを受け、昭和50年春、故橋本雅一

名誉教授の下達によって、本課程の立ち上げに奔走されたのは奥脇義行名誉教授です。昭和52年1月に資格取得の旨が開示され、初代と教員一丸となって全員合格まで導かれた熱い歴史が残っています。このように栄養学科栄養科学専攻から始まった6年間、そして4年目には保健栄養学科に変わり、令和3年度入学生までの42年間、合わせて間もなく50周年を迎えます。この間、どれほど多くの先生方のご支援やご指導を賜ったことでしょうか。本課程をここまで成長させていただきましたことを改めて感謝申し上げます。

また、検査技師課程委員長は故高橋信二教授、そして川村堅教授にと引き継がれ、同窓会の在り方を考え、卒業生との交流の機会として、香川栄養学園創立80周年記念に合せて「香川芳子学術奨励賞」が設けられました。本賞は、同窓会の中から栄養学・臨床検査学領域において優れた研究をおこなっている、または当該領域業務の発展に貢献した方を表彰し奨励することが目的です。若葉会総会において授与されるもので、受賞対象の研究や評価された内容の記念講演をお願いしております。平



実習生と実習先の交流の場である「わかば会」風景、松柏軒にて



第1回香川芳子学術奨励賞 吉住あゆみさん（右）と香川芳子学園長

成25年第1回を皮切りに毎年開催され、卒業生のご活躍や足跡を伺い知ることができ、在校生を始め教職員にとって薫陶をいただく貴重な時間となっています。

我が校は、私立大学で臨床検査技

師養成を開設したのは3番目に古く、女子大としては唯一無二です。私たち同窓の強い絆が、母校の伝統を守り、更なる発展となります。どうぞ、皆様一人一人の思いを、お力を「若葉会」に頂戴したく存じます。

卒業生家庭科教員の会

おかげさまで設立34周年

卒業生家庭科教員の会「この10年の歩み」

市川ひとみ

学部二部昭和58年卒業

在学時より都内の直営企業の社員食堂で調理師・栄養士職を務め、教員免許取得後、埼玉県公立小学校教諭を定年まで勤める。現在は、再任用日本語教諭および都立高等学校で家庭科講師。卒業生家庭科教員の会幹事

本会は、女子栄養大学にて教職課程を履修し、卒業後に家庭科教諭として教育現場で中学校、高等学校で

た。おかげさまで会員有志の方の年会費と共に会計的にもスムーズに運営させていただいております。

教壇に立っている方々を対象にして、香川綾先生が米寿を迎えられた昭和62年の6月6日に、教授の先生方、上村行世先生、安藤和子先生、板谷幸恵先生のご尽力で設立、発足いたしました。その母体となったのは、故安藤先生の下に学びを求めて集まった（筆者含む）4人の卒業生

これまでの活動として、年1回夏休みに駒込校舎にて全日通して研修大会をおこなってきました。

教諭の学習会です。立ち上げ時には250名程の会員が現在では550名までに成長いたしました。

午前中は懐かしい錚々たるメンバーの先生方からのご講義を受け続けてきました。当初から25回目までを振り返ってみますと、第1回目の綾先生のご講演をはじめ、生理学の小池五郎先生、調理学の寺元芳子先生、栄養学の香川芳子先生、小児栄養学の高橋悦二郎先生、食品機能学の五明紀春先生、食品学の吉田企世子先生、時間栄養学の香川靖雄先生、住居学の尾崎沙和子先生、脂質学の長谷川恭子先生、家庭科教育学・教

20周年の頃より、ありがたいことに香友会および大学家庭科委員会より通信費と研修会時の講師代の一部をご援助いただけるようになりました。

育法の伊藤央子先生、大井裕子先生、教育課程の櫻井純子先生、製菓の竹澤正喜先生、城戸我夜子先生、川端輝江先生、井元りえ先生、と、こう書き連ねていくと本当にありがたい学びをさせていただいたものです。分野も食と栄養をはじめとして、住居・保育・新学習指導要領など家庭科教員の資質向上に求められるものばかりです。

昼食はお楽しみの松柏軒で、一人一スピーチタイムを設けて楽しくおいしく会食し、その様子を香川芳子先生が写真に収めてくださいました。

～この10年の歩み～

第26回：平成25年7月27日(土)

講演：「小・中・高等学校に対応する食育について」

講師：女子栄養大学学長 香川明夫先生

意見交換会「和食の無形遺産化」、実技実習「手芸カルトナージュ」、など

第27回：平成26年7月27日(日)

講演「介護の現場から」社会法人サンフレンズ事務局長 佐野晴起氏

講義、実習「私たちの身近な介護～食べることは生きること」

第28回：平成27年7月25日(土)

講演「四群点数法について」女子栄養大学教授 川端輝江先生

実践「食をテーマにした総合学習の手法を学ぼう」、実習「ファスナーポーチ」

第29回：平成28年7月30日(土)

調理実習 講師 香川調理製菓専門学校校長 古川瑞雄先生

講演「野菜の機能性について」女子栄養大学教授 三浦理代先生

第30回：平成29年7月29日(日)

講演「運動部へ所属する生徒への食事の支援」女子栄養大学教授 石田裕美先生

体験実習「フラワーアレンジメント制作実習」、調理デモンストレーション、など

第31回：平成30年8月5日(日)

調理実習、デモンストレーション

講師 香川調理製菓専門学校校長 古川瑞雄先生

講演「香川栄養学園新家庭料理検定」女子栄養大学学長 香川明夫先生

アフタヌーンティー、ハーバリウム制作、など

第32回：令和元年8月19日(月)

「くるみボタン作成」

「食育を教育課程にどう取り入れていくか」(*学校教育研究会との共催)

第33回：令和2年は新型コロナ禍のため未開催

第34回：令和3年7月18日(土)

オンラインにて開催

「新型コロナ禍における10代の栄養教育」女子栄養大学副学長 香川靖雄先生

「この一年間コロナ禍での家庭科実習について」報告会、など



第二十四 女子栄養大学・女子栄養短期大学

卒業生家庭科教員の会

2017/07

あさば会とは
「あさば会」は、平成3年2月24日、女子栄養大学駒込校舎小講堂にて行われた女子栄養大学養護教諭課程同窓会設立総会において命名・発足しました。令和3年度で32周年を迎え、会員数は、約2,000名を超えています。学生は卒業と同時に自動的に会員となります。

あさば会の由来
女子栄養大学が養護教諭養成を開始したのは、保健栄養学科が設置された昭和55年です。1期生は、昭和58年度の3月に卒業しています。その7年後、卒業生らが互いの養護実

践を共有し資質向上を図ることを目的に発足しました。

「あさば会」の発足にあたり、秋山房雄先生が橘雅子先生に宛てたお手紙が残されていました。達筆でやや難解でありましたが、下記のような内容でした。

あさば会の今
現在は、あさば会セミナー及び定期総会（年1回）、卒業生向け教員採用試験対策、学校ボランティア支援、養護教諭求人情報の発信、学会等の情報発信に取り組んでいます。あさば会セミナー



公式HP

ページ (<https://asabakai-yogo.jindo.com/>) を立ち上げています。令和3年度からはLINE公式アカウントを取得しました。相互交流を図りお互い助け合って立派な励ましの会になれるよう努めています。



あさば会

「あさば会」の発展に向けて

大沼久美子

学部平成2年卒業、大学院修士平成20年修了

女子栄養大学保健栄養学科を卒業後、埼玉県内小中学校養護教諭、埼玉県立総合教育センター指導主事を経て平成21年より母校で養護教諭養成に携わる。女子栄養大学教授（実践養護学研究室）、あさば会会長

午後は、卒業生教員を講師に、パネルディスカッションやシンポジウム、実践報告会をおこない、互いの学びあいを続けました。これは、会を初期から引つ張ってくれたお世話係の卒業生教員の先生方（現在は幹事）のおかげでした。

そしてご定年までの長きに亘る、名誉教授であり名誉会員の板谷幸恵

先生の温かいご支援のおかげで、卒業生教員たちは頑張り続けることができました。この活動をずっと見守り続けてくださった先生方、ありがとうございます。

今後より良い卒業生家庭科教員同士の繋がりを求めて、時代に合った企画で本会を継続していきたいと思っています。

「発会に寄せて」

紅之（くれないの） 浅葉乃野良（あさばののらに）
荊草乃（かるかやの） 東乃間毛（つかのあいだも）
吾忘渚菜（わをわすらすな） （巻第十一・二七六三）

これは萬葉歌です。浅葉乃というのは地名であり、埼玉県坂戸町にも静岡県磐田郡にも長野県東筑摩郡にもある地名のようですが、その地で刈る草の束一束のうち私を忘れないでね、という恋の歌です。…略…浅葉野に立つてものさびている萱の根のように、こまやかにあなた以外の誰かに対して恋心をいだいたり私は致しません、と訳しています。また土屋文明訳では、浅葉野に立つと神さびている萱の根のようにねんごろに、心深く、誰のために私は恋いずにいようか、となっています。いずれにしても純真な心で相手を思い続けている萬葉の女性の歌だと思われます。しかし女性ではなく男性かもしれませんが、萬葉集の歌の中で、女性の歌の方が男性の歌よりもより感動的であるものが多いように思われますので、私はこの歌の作者は女性だと決めているのです。…略…浅葉という地名はつながり深いものと思われます。この古い地名の場所で結ばれた養護教諭課程卒業生の同窓会が「あさば会」という名前を付けられることを心よりお祝いするとともに、皆さんが会のことを忘れることなく、お互い助け合って立派な励ましの会になることを切に祈ってやみません。

1991年3月1日 秋山房雄

香流会

香川調理製菓専門学校

卒業生の会「香流会」のあゆみ

古川瑞雄

香川栄養学校（現、香川調理製菓専門学校）昭和46年卒業

卒業後、（株）ホテルオークラに入社。館内の製菓科、レストラン、宴会調理、ホテルオークラ・アムステルダム、ホテルオークラ神戸取締役総料理長を経て、平成23年母校に入職、平成27年より香川調理製菓専門学校校長、現在に至る。香流会会長

香川調理製菓専門学校の卒業生の

会「香流会」は、卒業生と在校生、

卒業生と学校を結び付け、広く相互

に学び合える場になることを目的

に、平成24年4月の校長・副校長交

代を契機に交流の場としての組織構

築の検討を開始。香川栄養学園創立

80周年の節目の平成25年に「香流会」

が発足し、現在の会員数（連絡可能

な方）は5,527名です。

まずは、平成24年7月18日に香友

会主催で「香流会キックオフパー

ティー」が松柏軒で開催され、香川

芳子名誉校長、吉田企世子香友会会

長、岸朝子香友会東京支部長他卒業

生47名と在校生41名に参加いただき

スタートを切りました。その翌年度

からの活動は次の通りです。

※平成25年7月17日（火）第1回香

流会総会、懇親会を開催。

※同年8月22日（木）在校生対象講演

会開催（ヒガシマル醤油株式会社、

ドゥーパティスリーカフェエフ）。

※同年9月、学園80周年の記念事業

として、「グルメガイド」卒業生

のお店紹介」第1版を出版、23軒

の卒業生のお店をご紹介します。

※平成26年11月18日（火）第2回香

流会総会、講演会（講師：明治乳

業より）、懇親会を開催。

懇親会（松柏軒）は卒業生や在校生、

学園役員の皆様もご参加いただき

松柏軒の料理と共に、在校生による

実技コンクールでの大根の桂むき、

ケーキデコレーション等、様々なプ

ログラムをお楽しみいただいた。

※平成27年2月16日（火）第3回総

会、講演会（講師：味の素より）、

懇親会を開催。

※平成28年2月、出版部のご協力の

下「グルメガイド」第2版制作出版。

女子栄養大学、短期大学の卒業

生のお店も含め、40軒をご紹介します。

※同年7月26日（火）、第4回総会

開催。この年より講演会、懇親会

は1年ごとの開催となった。

※平成29年7月18日（火）第5回総

会、講演会（講師：明治製菓より）、

懇親会を開催。懇親会では活躍し

た卒業生の桂有紀乃様へ理事長賞、

加藤翔吾様へ香流会会長賞授与。

また、懇親会のビンゴゲームは卒

業生の田中芳郎様へ寄贈の沢山の

景品に大変な盛り上がりで終了。

※平成30年7月24日（火）第6回香

流会総会のみ開催。

※平成31年2月、出版部のご協力の

下、グルメガイド第3版を出版。

大学、短大、専門学校の卒業生の

お店60軒をご紹介します。

※同年7月23日（火）第7回香流会

総会、講演会、懇親会開催。講演

会講師はグルメジャーナリスト東

龍氏。松柏軒での懇親会では室内

ホッケーの日本代表で活躍した在

校生の熊谷翔君へ会長賞、ビンゴ

の景品をご寄贈して下さった田中

芳郎様へは感謝状と「栄養と料理

1年間購読券」授与。

※令和3年3月3日 新型コロナウイルス

イルス感染の影響で1年延期と

なった第8回香流会総会のみ開

催。コロナ対策の中、学生・生徒

支援として学園へ20万円の寄付の

報告のほか、令和2年度末で退職

の中谷先生へ功労賞授与。クープ

デュモンドドゥラパティスリー

2019で活躍した小熊良平氏、

ジャパンケーキショーで活躍した

葭川祐介先生へ会長賞授与。

香流会は主に専門学校教職員が構

成する幹事会で、学校の業務の合間

に時間を作って方向性を決定し、活

動を続けています。今後、業務が多

忙な中、また、定年退職者が続出す

る中で組織をどのように構成し、ど

のような活動が続けることが出来る

かが、現在の課題です。キックオフ

から10年の節目になりますが、当初

の目的、「卒業生・学校・在校生の

交流の場」として次の世代にバトン

タッチできるように若い幹事さんに

つなげていければと思っています。



香流会キックオフパーティーの様子



在校生による実技コンクール

駒込キャンパス栄養士の会

つなげよう！ 卒業生の絆

松田 早苗

短大昭和59年、学部二部昭和61年卒業、大学院修士平成6年修了
 本学短期大学を卒業後、学部二部に編入し、病院栄養士として勤務。その後、本学
 大学院に進学し、修了後、本学短期大学部栄養学研究室に助手として勤務。本学栄
 養クリニック専任講師、本学短期大学部栄養学研究室准教授を経て現在に至る

栄養士科（昭和8年～平成22年）、
 短期大学（昭和25年～）共に70年以
 上にわたって、駒込キャンパスで栄
 養学を学んだ多くの学生・生徒を社
 会に送り出してきました。あらゆる
 分野で卒業生は活躍しています。

学園全体の同窓会である香友会が
 あるにも関わらず、「駒込キャンパ
 ス栄養士の会」を設立するにいたつ
 た経緯ですが、香友会の拠点が坂戸
 であるため、同窓会が遠い存在に感
 じると卒業生から意見があつたこ
 と、2年制は、4年制に比べ縦の繋
 がりがなく、一人職種で、不安
 な思いを抱きながら日々の業務にあ
 たっている卒業生からは、情報がほ
 しいなどのお声をいただき、情報交
 換の場として、平成28年、駒込キャン
 パス栄養士の会を発足することと
 しました。

とはいえ、運営方法については、
 情報交換会だけでよいのか、講演会
 も必要なのではないかと定まらず、
 まずは、駒込キャンパスに足を運ん

でもらうことが大事と、駒込祭に來
 ていただき、ゼミ紹介や実験実習の
 ポスター発表、各ゼミのイベントを
 通して、現在の短期大学の教育に
 ついて知ってもらい、駒込キャンパ
 ス栄養士の会のブースにて情報交換
 をおこないました。近況報告だけで
 なく、学生の頃の思い出をお話して
 くださる卒業生もいらつしゃいまし
 た。

また、保育園や学校に就職した卒
 業生からは、食育について学びたい
 との意見があり、香川明夫学長にご
 登壇いただき、学長を交えたグルー
 プディスカッションでは活発な意見
 交換の様子が見受けられました。卒
 業生からは、いろんな情報を得るこ
 とができ、今後に役立てたいと前向
 きな感想をいただきました。

まだまだ認知度の低い「駒込キャン
 パス栄養士の会」ですが、イベン
 ト等については、香友会ホームページ
 にてインフォメーションさせてい
 だきますので、ぜひご参加いただ

平成30年11月の駒込祭では、香友会の展示ブースに「駒込キャンパス栄養士の会」のコーナーを設け、卒業生を迎えました。来訪した卒業生には香友会会員組織部の幹事が対応し、情報交換をおこないました。

その中で、保育園に勤務している短期大学部卒業生のお話を伺うことができました。今、保育園では食物アレルギーの子どものために、様々な対応がなされています。

香友会では、毎年学生会員を対象とした「食物アレルギー講座」を開講しています。現場のお話を伺うため、卒業後保育園に就職する短期大学部の学生に向けたアレルギー講座の講師を、来訪した卒業生にお願いすることになりました。

講座当日は、現場のお話を伺った後、調理実習。学生にとって有意義な時間となりました。

令和2年3月 短期大学部学生向け「食物アレルギー講座」にて



平成30年11月 駒込祭の「駒込キャンパス栄養士の会」コーナーにて

き、先輩方には、後輩を育てていた
 だくとともに、駒込キャンパスで学

んだ者の絆を強固なものにしたいと
 願っています。